



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月5日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6418 URL https://www.jcm-hq.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 山崎 統司 TEL 06-6703-8400
 経営企画本部副本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有 (ホームページに掲載)
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,105	△40.0	△1,502	—	△1,561	—	△1,551	—
2020年3月期第2四半期	13,508	△13.3	62	△93.7	△103	—	△290	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △1,614百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △734百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△52.30	—
2020年3月期第2四半期	△9.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	34,900	28,436	81.5	958.73
2020年3月期	37,090	30,303	81.7	1,021.68

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 28,436百万円 2020年3月期 30,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	未定	未定

(注) 2021年3月期の期末配当予想については現時点で業績の予想が困難なため未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大による事業への影響が依然として不透明なことから、現時点において合理的な算定が困難であるため、引き続き未定としております。
 今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	29,662,851株	2020年3月期	29,662,851株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,509株	2020年3月期	2,438株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	29,660,401株	2020年3月期2Q	29,647,991株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開する主要市場である海外ゲーミング市場及び国内遊技場向機器市場においては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う各国政府による拡散防止措置により、カジノ及びパチンコホールは一時休業を余儀なくされ、現在は営業を再開しているものの、入場者数の制限等により、以前のような活況を取り戻せておらず、投資意欲は極めて低調に推移しております。併せて、国内外の商業事業においても、インバウンド需要の減少や経済活動停滞等の影響を受けて設備投資の抑制傾向が続くとともに、一部では納期調整の依頼も受けております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,105百万円（前年同四半期比40.0%減）となりました。利益面では、営業損失は1,502百万円（前年同四半期は62百万円の利益）、経常損失は1,561百万円（前年同四半期は103百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,551百万円（前年同四半期は290百万円の損失）となり、いずれも損失を計上するに至りました。

なお、当第2四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドル108.25円（前年同四半期は109.99円）、ユーロは119.38円（前年同四半期は124.11円）で推移いたしました。また、当第2四半期連結会計期間末の時価評価に適用する四半期末日の為替レートは、米ドル105.78円（前連結会計年度末は108.83円）でありました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①グローバルゲーミング

新型コロナウイルスの感染拡大に伴うカジノホール等の休業の影響から4月以降、需要が大幅に低下したこともあり、紙幣識別機ユニット、紙幣還流ユニット及びプリンターの販売が激減したことなどにより、当セグメントの売上高は4,024百万円（前年同四半期比47.7%減）、セグメント損失は408百万円（前年同四半期は1,138百万円の利益）となりました。

②海外コマース

アジア地域では経済活動の回復が進む中国をはじめ、インド及びシンガポールにおける鉄道券売機向けに新製品の紙幣還流ユニットの販売は増加いたしましたが、欧州地域における紙幣還流ユニットの販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は1,240百万円（前年同四半期比12.5%減）、セグメント損失は508百万円（前年同四半期は405百万円の損失）となりました。

③国内コマース

新型コロナウイルスの感染拡大の影響による顧客の設備投資需要の低下を受け、一部の受注キャンセルが発生したこともあり、当セグメントの売上高は757百万円（前年同四半期比44.9%減）、セグメント利益は30百万円（前年同四半期比87.7%減）となりました。

④遊技場向機器

規制強化等による厳しい市場環境に加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う営業自粛などの影響から、パチンコホール設備機器の入替需要が停滞しており、メダル自動補給システムを中心とした主力製品の販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は2,082百万円（前年同四半期比31.1%減）、セグメント損失は473百万円（前年同四半期は56百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,189百万円減少し、34,900百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,954百万円減少し、23,869百万円となりました。「商品及び製品」が509百万円、「原材料及び貯蔵品」が492百万円それぞれ増加した一方で、「現金及び預金」が882百万円、「受取手形及び売掛金」が2,192百万円それぞれ減少いたしました。

固定資産合計は、「のれん」等の無形固定資産の償却が進んだことにより、前連結会計年度末に比べて235百万円減少し、11,030百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて322百万円減少し、6,464百万円となりました。「支払手形及び買掛金」が128百万円、「賞与引当金」が143百万円それぞれ減少いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,867百万円減少し、28,436百万円となりました。配当金の支払及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により「利益剰余金」が1,803百万円減少いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、売上債権の減少等による資金の増加があった一方、税金等調整前四半期純損失の計上、たな卸資産の増加等による資金の減少及び配当の支払い等により、前連結会計年度末に比べ882百万円減少し、8,421百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は413百万円（前年同四半期は283百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の減少額2,142百万円等の資金の増加を計上した一方で、税金等調整前四半期純損失1,593百万円、たな卸資産の増加額1,252百万円等の資金の減少を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は146百万円（前年同四半期比48.0%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出151百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は282百万円（同19.3%減）となりました。これは主に配当金の支払額251百万円等によるものであります。

また、これらのほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額39百万円の資金の減少がありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の終息時期は現時点では引き続き不透明な状況であり、2021年3月期通期連結業績予想値につきましては、未だ合理的な算定が困難であることから、引き続き未定といたします。なお、当社グループでは、今後数年間にわたりコロナ禍が続くことを前提とした業績の改善施策の立案を進めております。

以上の内容を踏まえ、当該業績予想値については、合理的な算定が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,323,984	8,441,144
受取手形及び売掛金	5,315,130	3,122,313
電子記録債権	74,796	71,811
有価証券	89,490	54,601
商品及び製品	6,110,268	6,619,600
仕掛品	484,180	615,777
原材料及び貯蔵品	3,859,915	4,352,597
その他	722,956	755,755
貸倒引当金	△156,560	△163,691
流動資産合計	25,824,162	23,869,910
固定資産		
有形固定資産	4,950,554	4,910,705
無形固定資産		
のれん	1,609,925	1,481,864
技術資産	131,928	88,728
顧客関連資産	2,365,489	2,182,434
その他	318,786	312,920
無形固定資産合計	4,426,129	4,065,947
投資その他の資産		
その他	1,948,780	2,113,277
貸倒引当金	△58,989	△58,989
投資その他の資産合計	1,889,791	2,054,288
固定資産合計	11,266,474	11,030,941
資産合計	37,090,637	34,900,852
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,094,724	2,965,981
未払法人税等	591,512	585,282
賞与引当金	291,682	148,018
事業構造改善引当金	342,843	290,159
その他	1,821,578	1,857,582
流動負債合計	6,142,340	5,847,024
固定負債		
その他	644,919	617,476
固定負債合計	644,919	617,476
負債合計	6,787,259	6,464,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,762,525	2,762,525
利益剰余金	25,984,844	24,181,403
自己株式	△2,217	△2,258
株主資本合計	30,962,097	29,158,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134,561	251,869
為替換算調整勘定	△793,281	△974,134
その他の包括利益累計額合計	△658,720	△722,264
純資産合計	30,303,377	28,436,351
負債純資産合計	37,090,637	34,900,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	13,508,007	8,105,713
売上原価	8,233,332	5,377,539
売上総利益	5,274,675	2,728,173
割賦販売未実現利益戻入額	13,787	6,572
差引売上総利益	5,288,462	2,734,746
販売費及び一般管理費	5,226,119	4,237,220
営業利益又は営業損失(△)	62,343	△1,502,474
営業外収益		
受取利息	3,859	5,022
受取配当金	19,853	23,740
その他	21,617	21,518
営業外収益合計	45,330	50,281
営業外費用		
支払利息	1,483	1,973
為替差損	197,642	94,048
その他	12,085	13,170
営業外費用合計	211,210	109,192
経常損失(△)	△103,536	△1,561,385
特別利益		
固定資産売却益	—	684
特別利益合計	—	684
特別損失		
固定資産除却損	6,155	1,539
固定資産売却損	—	53
投資有価証券評価損	23,458	7,233
減損損失	—	24,087
特別損失合計	29,613	32,914
税金等調整前四半期純損失(△)	△133,150	△1,593,615
法人税、住民税及び事業税	164,724	△9,916
法人税等調整額	△7,597	△32,371
法人税等合計	157,127	△42,287
四半期純損失(△)	△290,277	△1,551,327
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△290,277	△1,551,327

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△290,277	△1,551,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74,236	117,308
為替換算調整勘定	△369,832	△180,852
その他の包括利益合計	△444,069	△63,543
四半期包括利益	△734,346	△1,614,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△734,346	△1,614,871
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△133,150	△1,593,615
減価償却費	502,924	463,971
のれん償却額	93,161	91,409
引当金の増減額(△は減少)	△65,261	△187,890
受取利息及び受取配当金	△23,712	△28,763
支払利息	1,483	1,973
為替差損益(△は益)	225,783	72,844
有形固定資産除売却損益(△は益)	6,155	907
投資有価証券評価損益(△は益)	23,458	7,233
減損損失	—	24,087
売上債権の増減額(△は増加)	1,166,039	2,142,481
たな卸資産の増減額(△は増加)	△616,481	△1,252,541
仕入債務の増減額(△は減少)	△112,634	△85,721
未収消費税等の増減額(△は増加)	△129,893	51,516
その他	△519,197	△105,160
小計	418,674	△397,265
利息及び配当金の受取額	23,386	28,418
利息の支払額	△1,483	△1,973
訴訟関連損失の支払額	—	△6,987
法人税等の支払額	△157,126	△36,134
営業活動によるキャッシュ・フロー	283,451	△413,943
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額(△は増加)	△294	33,561
有形固定資産の取得による支出	△266,407	△151,755
有形固定資産の売却による収入	—	685
無形固定資産の取得による支出	△13,920	△27,973
投資有価証券の取得による支出	△1,273	△1,042
その他	△10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△281,905	△146,524
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△340,116	△251,677
リース債務の返済による支出	△30,453	△30,829
自己株式の取得による支出	△255	△40
自己株式の売却による収入	20,761	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△350,063	△282,547
現金及び現金同等物に係る換算差額	△230,973	△39,824
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△579,490	△882,839
現金及び現金同等物の期首残高	11,348,448	9,303,984
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,768,958	8,421,144

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表)

前連結会計年度において、「受取手形及び売掛金」に含めていた「電子記録債権」は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より独立掲記することとしております。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「受取手形及び売掛金」に表示していた5,389,927千円は、「受取手形及び売掛金」5,315,130千円、「電子記録債権」74,796千円として組替えております。

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社グループでは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。当該会計上の見積りについては、前連結会計年度から重要な変更はありません。新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響は、事業によってその影響や程度が異なり不確定要素が多いことから、その状況によっては今後の当社グループの財政状態、経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,694,470	1,417,569	1,373,995	3,021,971	13,508,007	—	13,508,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,694,470	1,417,569	1,373,995	3,021,971	13,508,007	—	13,508,007
セグメント利益又は 損失(△)	1,138,859	△405,733	249,473	△56,917	925,682	△863,338	62,343

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,024,813	1,240,812	757,723	2,082,364	8,105,713	—	8,105,713
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,024,813	1,240,812	757,723	2,082,364	8,105,713	—	8,105,713
セグメント利益又は 損失(△)	△408,037	△508,062	30,580	△473,467	△1,358,986	△143,487	△1,502,474

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「グローバルゲーミング」セグメント、「海外コマーシャル」セグメント、「国内コマーシャル」セグメント及び「遊技場向機器」セグメントにおいて、固定資産の減損を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては「グローバルゲーミング」セグメントに17,848千円、「海外コマーシャル」セグメントに4,503千円、「国内コマーシャル」セグメントに1,026千円及び「遊技場向機器」セグメントに708千円を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。